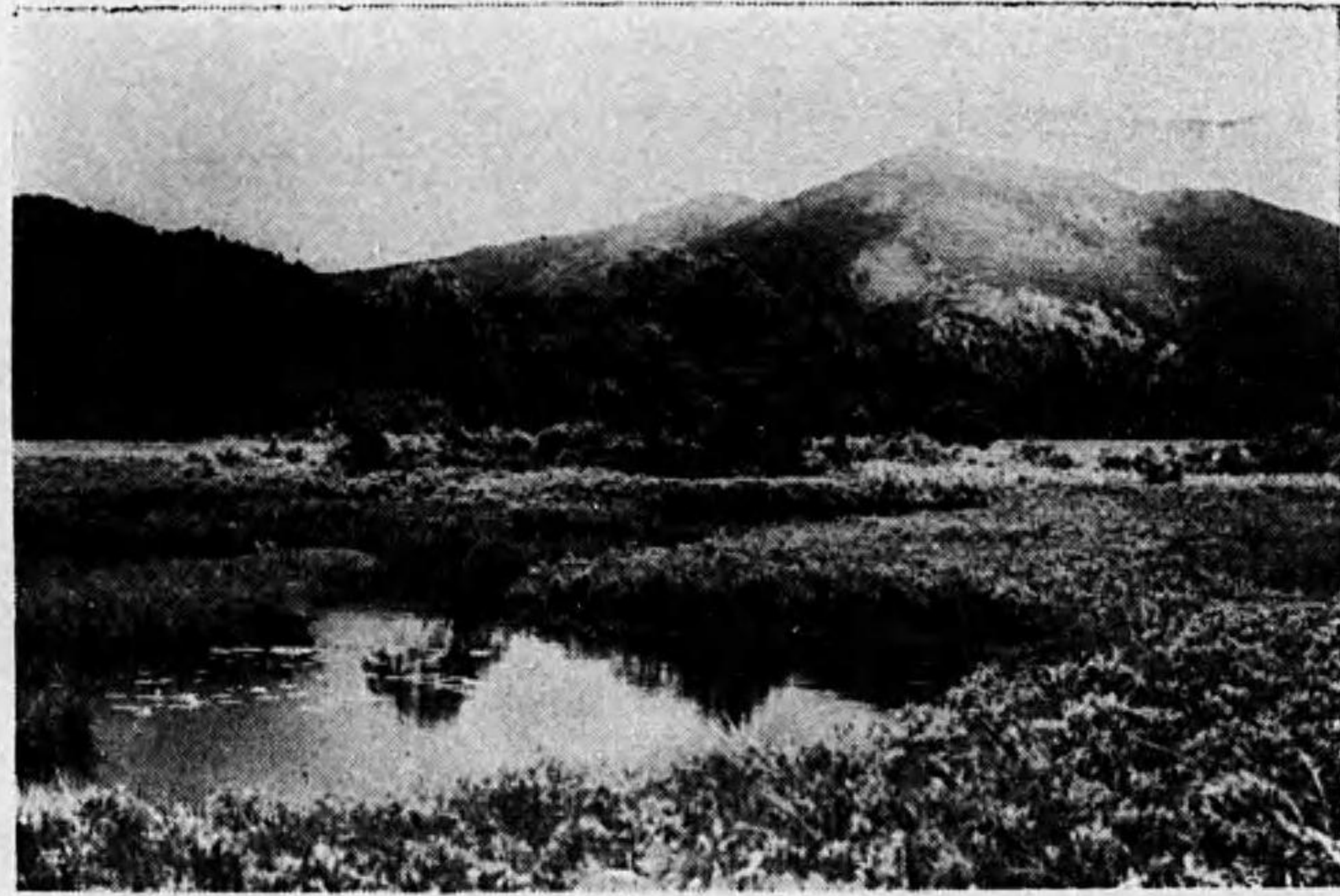


文 部 省  
教 育 映 畫 時 報



8

昭 和 六 年 十 一 月

文 部 省 社 會 教 育 局



始





目次

一、新作映畫解説

發行所寄贈本

マツカの話	一
小笠原島	一三
尾瀬	二〇
内外教育映畫時報	三一
外國に於ける教育映畫の概況	三一
名古屋市教育映畫協會の活動	四二
文部省に於ける民衆娛樂及び教育映畫に関する施設の概要	四七
文部省製作活動寫真フィルム頒布規程	五二
文部省製作活動寫真フィルム貸與規程	五五
文部省製作活動寫真フィルム目錄	五八





279-56

新作映畫解説

マッチの話

全二卷



吾人の日常生活必需品たるマッチに就いて説明し、發火器の變遷よりマッチの種類並に安全マッチの製造工程を詳細にすると共に之等マッチの取扱及其他の注意を説示したものである。

(太字はタイトル細字は説明字句)

第一卷

太古我々の祖先は火をつかふことを覺えた、それから火のない生活が出来なくなり火をおこす方法をいろいろ考へた

金属のない時代には木と木と擦つて火をおこした、今日でも御大禮の際の大嘗會にはこの方法で火をおこすことになつてゐる。鐵が使用されるやうになつて燧石を打合せて火を得るやうになり、今日でも實用以外には折々用ひられて居るやう

昭和十一年四月

一、	.....	一
二、	.....	二〇
三、	.....	三二
四、	.....	四二
五、	.....	五二
六、	.....	五八



である。又これを應用してライター等と云ふものが出来てゐる。

しかし今日ではマツチといふ便利なものが出来てゐる

はやつけぎ

すりつけぎ

燐 寸

マツチ

いろ／＼な名稱や書き方があるが、先づ何より容易に發火する燐を用ひ

何處ですつても火の出る摩擦マツチ

が出来た。これには數種ある。

黄燐マツチ 頭藥に黄燐を用ふ。

赤燐マツチ 頭藥に赤燐を用ふ。

硫化燐マツチ 頭藥に硫化燐を用ふ。

無燐マツチ 頭藥に燐又は燐の化合物を用ひない。

黄燐マツチは

### 有毒危険

のため世界各国で製造を禁止して居る。

赤燐マツチは

### 不完全

で實用の域に達しなかつたし、硫化燐マツチは

日本では使はない

無燐マツチは研究中で

### 未完成

である。要するに日本では摩擦マツチは殆ど全く使はれて居ないのである。これ等は一寸した摩擦熱で火がつくが、それだけに危険である。これと違つて何處で擦つてもつくといふわけにいかないのがある。即ち

赤燐を塗つた面で擦ると火の出る安全マツチ



で、日本で

現在使はれてゐるマツチの殆ど全部がこれである。

これから今日我々の生活必需品である所の

安全マツチの出来るまで

をお目にかけてやうと思ふ。

寒帯の原始林、そこにはいつの頃から生えて居るか、色々の樹木が群生して太古からの神秘を護つてゐる。これ等の樹木が紙やマツチ其の他に形をかへて農村へ漁村へ都會へ現れるのである。マツチに使ふのはこれ等のうち松を箱に軸には楡(シナノキ)か泥楊(ドロヤナギ)のやうに燃え易い材木を、特に上等の軸には「ヤマナラシ」といふ白楊をつかふ。それらの材木は工場へ送られ

### 製 軸 場

で必要な長さ(四〇センチメートル位)に切断し不必要な表皮をはぎ、  
素地<sup>キヤ</sup>むき

といつて大根の皮でもむくやうに何の苦もなく、長い木のリボンに作つてしまふ。このリボンの巾が丁度マツチの軸の長さになつてゐる。そして出て来る素地を撰り分けて良いのを重ね、よくないのは更に下等な素地の方へとまはす。次は、

### 軸きざみ

の爲に素地を整頓して刻み機械にかけてきざむ、その太さは正確で狂ひがない。かうして先づマツチの軸が出来る。そこでその軸を火のついた時に燃え落ちない安全軸或は色軸にするのにそれ／＼適當な藥劑染料に浸すのである。そして乾燥場へひろげて日光で乾し、(上



圖參照) 白軸の上等なものは更に漂白もする。



### 小箱製造場

ここでは小箱を機械で自動的に作る装置がある。即ち松の木を軸の素地やうにむいて、折目をつけて、箱の大きさに裁つて「側」も「抽斗」も自動的に組み立てる。だから、たゞ材料の

糊 紙 側  
の素地

を補給してやりさへすればどん／＼出来上る。然し

抽斗

は「側」と一寸よく似た仕事だが底をつけるだけ「側」よりおくれる。だからそれだけ機械を多く置いて「側」との平均をとつて居る。そこで出来た「側」と「抽斗」は別々の運搬ベルトによつて

乾燥器へ

送られる、乾燥器の中には熱風を送りこんであるのでこの中を通つてゆ／＼うちに

商標紙の印刷

「側」や「抽斗」の糊が乾くのである。これだけ出来ると、後はと、その

商標紙はり

である。その仕事の順序は、乾いた箱に抽斗を入れて商標紙を貼るので、すべて機械操作だから、箱が出て行くと糊が塗られてその上に商標紙が貼られ、後から／＼と押し出される。

軸につける頭薬の調合

この作業は發火し易いため危険視されて居る。

鹽素酸カリ（第一薬）

之は非常な注意の下に取扱はれる。

重クロム酸カリ

二酸化マンガン

酸化鐵



硫黄華

松脂

硝子粉

松脂と硝子粉は摩擦を増大させるために入れる。

これらをませたもの（第二薬）

右の二薬をそのまま混合すると鹽素酸カリが酸化し爆發するおそれがあるので第一薬と第二薬とは使ふ前に膠水で捏ね合す

箱の側薬は赤燐と硫化アンチモニーをませたものである

主なる材料はこれだけで、これらを組合せてマツチをつくるのである。先づ軸をそろへて……

良く乾いた軸木を篩にかけて短いクズを撰り落し、軸揃の箱に入れて振つて次第にその榫目の中へ同じ向にそろへ手箱に詰める。

軸列—軸枠の中へ一定の間隔をおいて軸を立て列べる

手箱から軸箱へうつした軸は、軸列機の振動によつて中箱の目を通つて下の軸枠の間に整然と列ぶ、この軸をぬけないやうに栓ををする。この仕事はこの工場でもはげしい仕事である。

### 第二章（二）卷

軸は頭薬をつける前にパラフィン油をしませる

軸に火がつき易くするためで輪轉して居る長い鎖臺の上に枠をのせて運びながら

先づ

爐で温めて……

パラフィン油をしませ

臺の下にある扇風機で

風を送つてパラフィンをかたまらせる

マツチをつくるのに最も苦心するところは頭薬のつけ方である。

その操作は、豫め造つてある頭薬を上頭薬壺から薬うけのローラーの上に流し



これを、定木で一定の厚さにしてベルトに移す、その薬は更に定木で均されて、一方から動いて来た、薬をつける軸の下端にピッタリ附いて同速度で移動といふことが最も大切なことで、少しでも遅速があつたら頭薬のつき方がまがる。

一定の長さを過ぎると頭薬をつけた軸は薬の載つてゐたベルトと別れて頭薬をつけたまゝこの機械の終點に着く、頭薬は表面張力のため玉になるが垂れ易いので棒をひつくり返してゐる。これで軸は出来上つた。そこでそれを天日に乾す。一  
**天日乾燥場** 濕つてゐる時には乾燥室を用ひる。

### 軸 抜

棒に長い間はさまされて居た軸がしばらく放される、小箱につめるためである。

### 箱 詰 場 (一二頁圖参照)

工場のうちで最も多くの人の居る職場で全部女工である。

### 十時間に四千個が普通で手の早い人は七千個も詰める

五六秒間に一個の割合でその神速な手技には驚嘆のほかない、一箱約九十五本

度でつかみとる。箱につめると外薬塗場へまはすが  
**小箱の外薬は豫め塗つておくと軸をつめる時頭薬とすれ合つて危険なので箱詰の後塗る**

これも頭薬の時のやうに機械で順々におくりながら

廻轉する二つの刷毛が側薬を同時に上下から塗る

側薬を塗つた箱は乾燥器の中を通つて包装場へ小箱の包装とその商標紙はりも美事な技術である

### 昭和五年の産額一、一〇〇萬圓

出来上つた包は行先により適當に荷造りされる。

### 外 國 へ

昭和五年の輸出 二六〇萬圓

### マ ツ 子

### 日 用 品





その爲でもあらう。

**オモチヤにする**

のは敢て子供とは限らない。而も扱ひ方で、

實に

**危険**

なものである。マツチは一本か二本しかない  
時の方が、そのありがたみをよく教へるもの  
である。

**同じマツチが**

數千の人々の生命や財産までおびやかすこと  
もある。

だからマツチをオモチヤになんかするもんぢやありませんよ。

## 小笠原島

全二卷

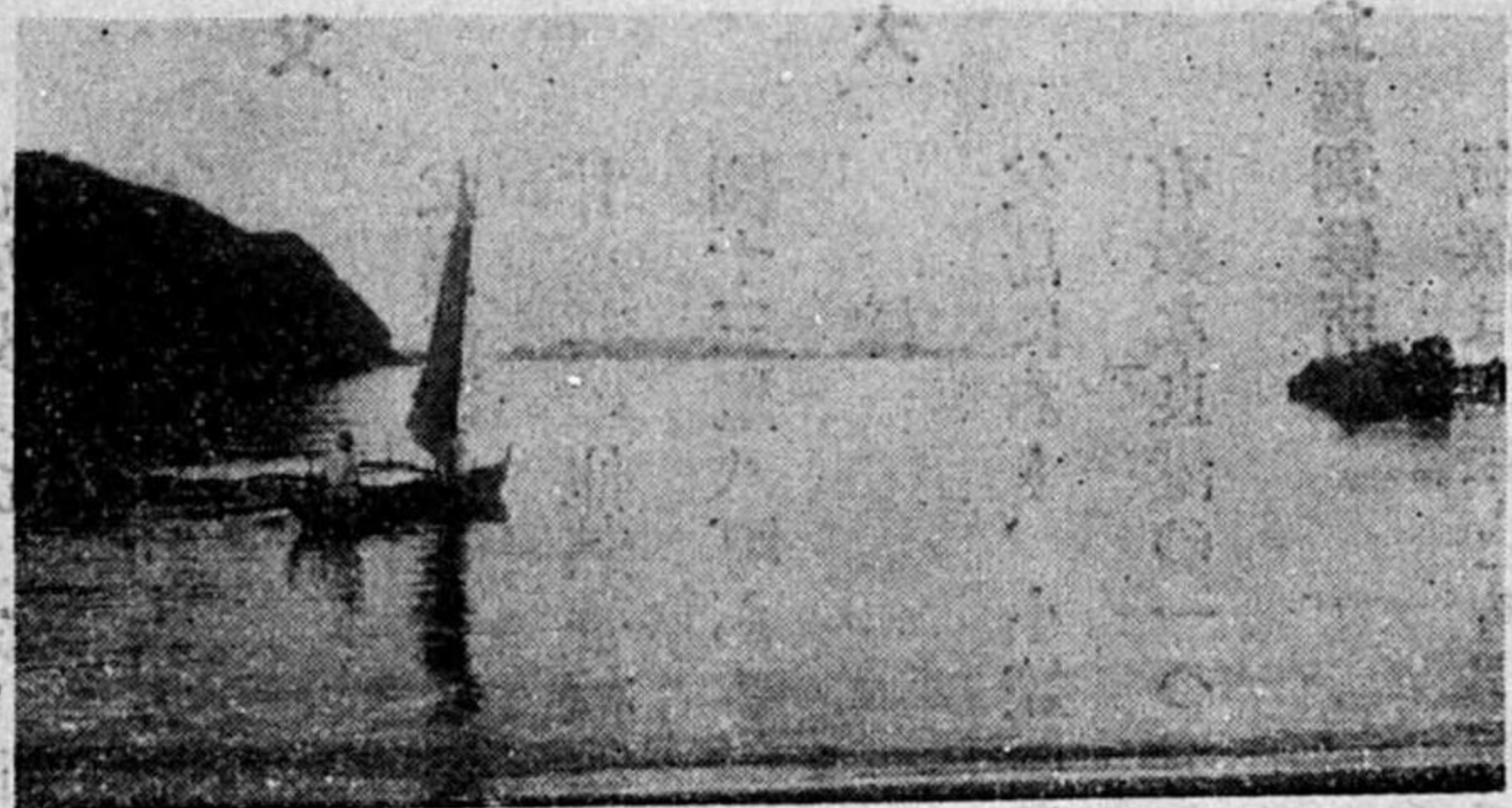
この映畫は、太平洋上に點在する亞熱帶地小笠原島に於ける珍奇な動植物の生態及び氣象觀測その他島内に於ける諸施設を撮影し、その地理的重要性を説示した映畫である。

### 内容

(太字はタイトル、細字は説明字句)

#### 第一卷

本州の東南方約五百餘海里、太平洋上に點在する一群の島嶼がある。これ太平洋に於ける我が國防上の要地として重視されてゐる小笠原諸島であつて、且つ動植物學界からも亦重要な寶庫として珍重せられてゐる。小笠原島は南北に細長く散在する三十有餘の小島嶼の總稱であつて、四列島





より成つてゐる。即ち最北の聳島列島を始めとし父島母島列島及び硫黄列島で全島總面積は約六方里、人口總計約六千人である。

父島

父島は就中重要な島で要塞地帯である。山姿水容は全く内地と異り巉岩怪石多く甘蔗其の他熱帯植物茂り、南國の興趣豊かである。南北二里、東西一里十町、周圍十三里八町ある。

大村

父島にあり、小笠原島の軍事行政産業の主都をなし、二見港は北太平洋に於ける有數な良港の一つである。

父島測候所

氣候は四季とも溫暖で一、二月頃でも華氏五十度を降らず、盛夏も亦海洋の影響をうけてさ程暑くない。

東京府小笠原支廳

小笠原博物館

小笠原各島の特産物陳列をしてゐる。産業としては

漁業

が最も盛で、小笠原節といふ鯉節がその重要産物である。

珊瑚

珊瑚は網を引いて海底から引上げる、加工して美しい服飾品に作る。

正覺坊養殖場（一六頁圖「正覺坊に乗れる子供」参照）

正覺坊は體量九〇疋位より大なるは百七、八十疋に及ぶものがある。その養殖には、先づ地中から

採卵

する。正覺坊は六、七、八月の候、夜間満潮と干潮との間に砂濱に這上り後鰭で徑一尺位深さ二尺内外の穴を掘り、その中に六、七十個より百二、三十個の卵を二回乃至三回産むので、それを人工孵化場に移すのである。卵は鶏卵より稍小さく



殻は強靱で破れ難い。



### 人工孵化場

人工孵化場では正覺坊が造る穴と同じ様な穴を掘つて之に卵を埋めその上に金網を伏せる。すると約二ヶ月後この金網の中へ可愛らしい子龜が生れ出る。

### 小笠原神社

父島の扇村にあり。此の島の發見者と云はれてゐる小笠原貞頼を祀つてある。

### 開拓小笠原島之碑明治十一年十一月建設

明治十一年十一月參議兼内務卿大久保利通の撰文になり本島開拓の經緯が記され

てある。

### 代官邸跡

文久元年十二月幕府の命により外國奉行水野忠徳が一行三十人を率ゐて小笠原島を巡檢し扇浦に假役所を設置した。

### 第二卷

小笠原島は亞熱帶國にあるから熱帶植物が多い

カラジウム 觀賞植物

バインアツプル

コーヒー

バナナ

オホミバツシヨン

ヤシ 食用に供さる

ココカ 藥用植物



マニラ 製麻の原料

シユロ

アレカ

ビンロー樹

タコの樹

ウドの大木

ウドではない、樹木である

谷 渡り 観賞植物

ハワイヤ 食用

我が同胞となつた異國の人々

天保元年伊太利人の率ゐる米國人等が小笠原島に移住して以來漸次我國に籍を置くに至り、その數現在では英人五十人米人二八人ポルトガル人九人計八七人である。尙小笠原島父島に本籍を有して出稼中のものが約四七人もゐる。(左圖「歸化

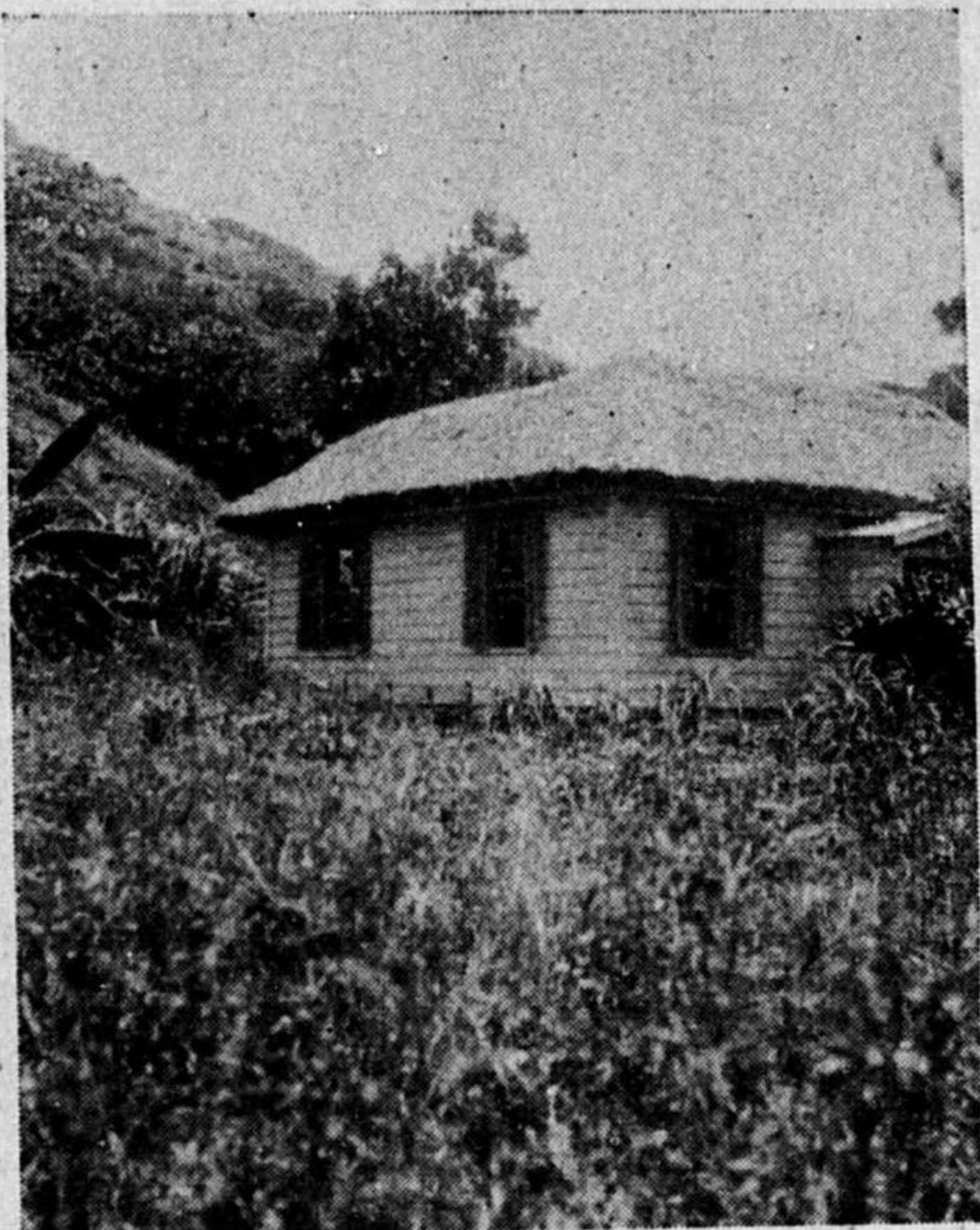
人の住宅(参照)

母島

父島の南三十二湮を隔て、あり、東西一里二十六町南北三里周圍十里で小笠原諸島中最も大きい、母島は全島山嶽重疊して平地は少ないが地味肥え樹木よく繁つてゐる。

沖村 沖港に面し本島の中心地である。

甘蔗 甘蔗は小笠原全島中最も重要な産物で大正八年には産額八十万圓に達した。



ヘゴマルハチ(齒朶類)

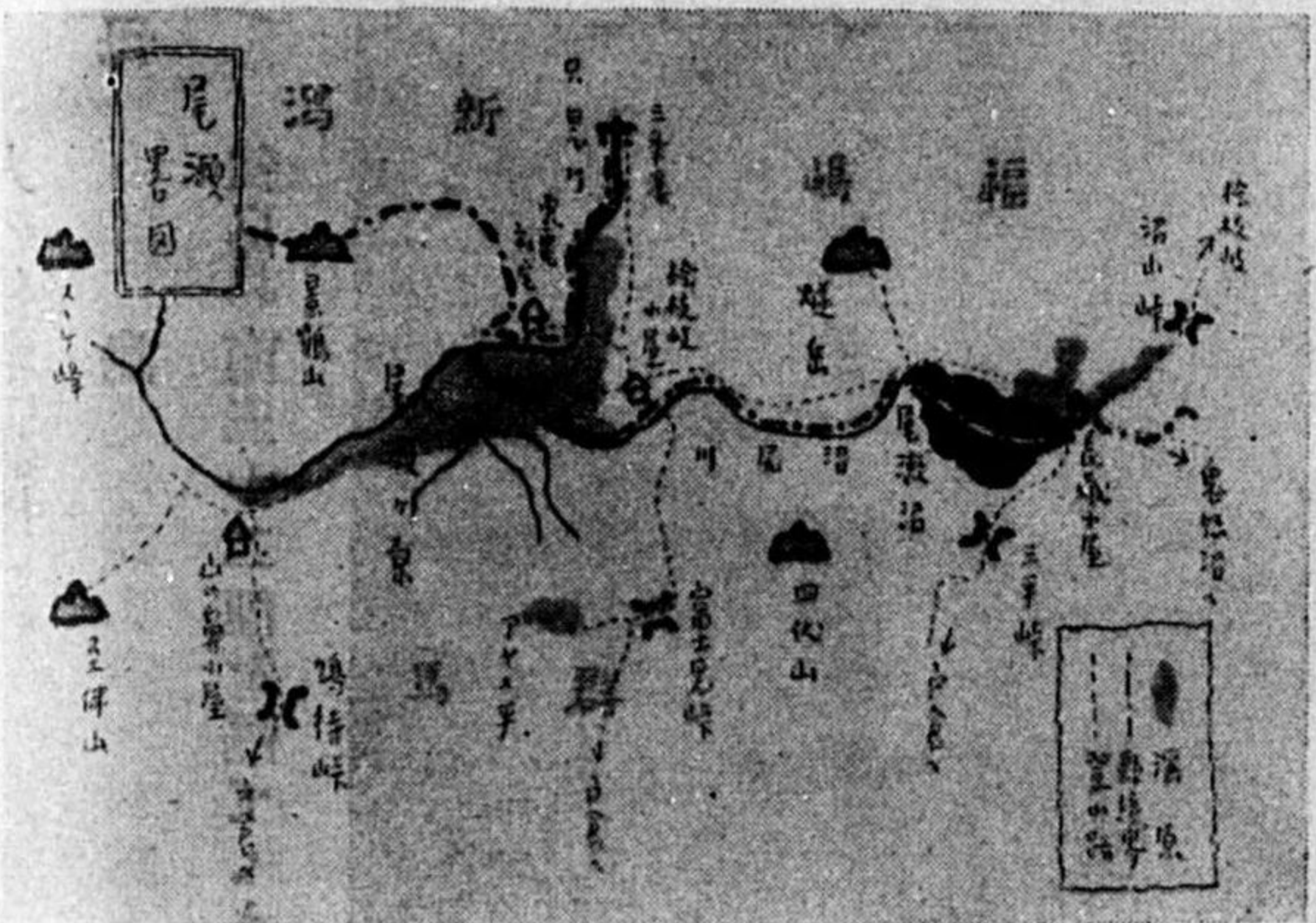
沖港より向島姉島を望む



この映畫は尾瀬ヶ原と尾瀬沼を中心とする地域の景觀を収めたものである。

尾瀬は群馬、福島、新潟の三縣にまたがり山岳、湖沼、溪流、濕原、瀑布、森林等景趣の變化頗る多く、風景の勝れたるはいふ迄もなく又植物の種類豊富なるは實に驚くべきものにして國內稀に見る地である。

尾瀬登山道は數ヶ所あつて、上越線沼田驛に下車して追貝鎌田オツカヒを経て戸倉に出で戸倉より一は三平峠(尾瀬峠)を越へて尾瀬沼畔長藏小屋に至るものと、一は鳩待峠を越へて尾瀬ヶ原西端至佛山麓にある山の鼻小屋に至るものと、更に日光湯元から金精峠コンセイを越へて鎌田に出で前記二路



の何れかをとるものがある。他に戸倉から富士見峠を越へて檜枝岐小屋ヒノエマキに出るものと、北方から沼山峠を越へて尾瀬沼に出るもの等あるが、前者は尾瀬ヶ原東端に出るために原と沼との兩方を旅行する者にとつて不便であり、後者は道程の遠い點から不利と考へられる。(二〇圖参照)

## 内容

### 第一卷

昔ながらの静寂境尾瀬を訪ねて戸倉の里を後に富士見峠へ

撮影班一行四名は沼田驛に下車、約十二里の道を戸倉に着し、人夫、食糧等を準備した。

登山路は鳩待峠を越へる道をとる豫定であつたが連日の降雨のため笠科川の水量が激増して徒渉が非常に困難であると云ふ人夫の話によつて、富士見峠を越へることにした。戸倉から富士見峠まで約二里半、硫黄澤の雨後の悪路に惱まされな



がら標高一、八三七米の頂上に着く。頂上から西へ約十町、藪を切り開いた道をたどれば菅蒲平に出る。此所は數多の池沼を有する濕原である。(上圖—富士見峠より戸倉を望む。)

春は残雪に夏は可憐の花に秋は織りなす錦繡に眺も飽かぬ尾瀬の濕原

富士見峠から檜枝岐小屋まで約一里半を下れば尾瀬ヶ原の東端に達する。

尾瀬の濕原は東西約一里半南北約七、八町乃至二十余町あり、カミダシロ上田代、中田代、下田代の三つに分けられてゐる。原には數多の池沼があつてそこにはヒツジグサ、ネムロカハホネなどが美しい花を開いて



ゐる。原は四方山に圍まれ原の盡きる所直ちに森林に連り珍奇な高山植物の豊富な點海内稀に見る地と稱へられてゐる。原は標高一、四〇〇米である。

ニツクワウキスゲ (二四頁圖「白樺の林に咲き群るニツクワウキスゲ」)

ユリ科 多年草

産地 樺太、千島、北海道、本州北中部の喬木帯

花候 七月

風のまに／＼池沼に漾ふ浮島

池沼の中には浮島を有するものもあつて可憐な花に飾られた小島が風のまに／＼漾ふのは珍らしい眺めである。

ヒツジグサ

原一面靴を没する濕潤地

原は非常に濕潤で場所によつては膝を没するやうな所もある。

山の鼻の小屋より至佛山へ



山の鼻の小屋は原の西端至佛山下戸倉から鳩待峠を越へて来る道にある。  
至佛山標高二、二二八米、頂上から俯瞰する尾瀬ヶ原の大観は燧岳を背景として

頗る雄大である。

**草原を彩る高山植物**

尾瀬は高山植物の種類豊富な點からも學界の豊庫と稱へられてゐる。

今寫真に現はれたものを順序に擧げると

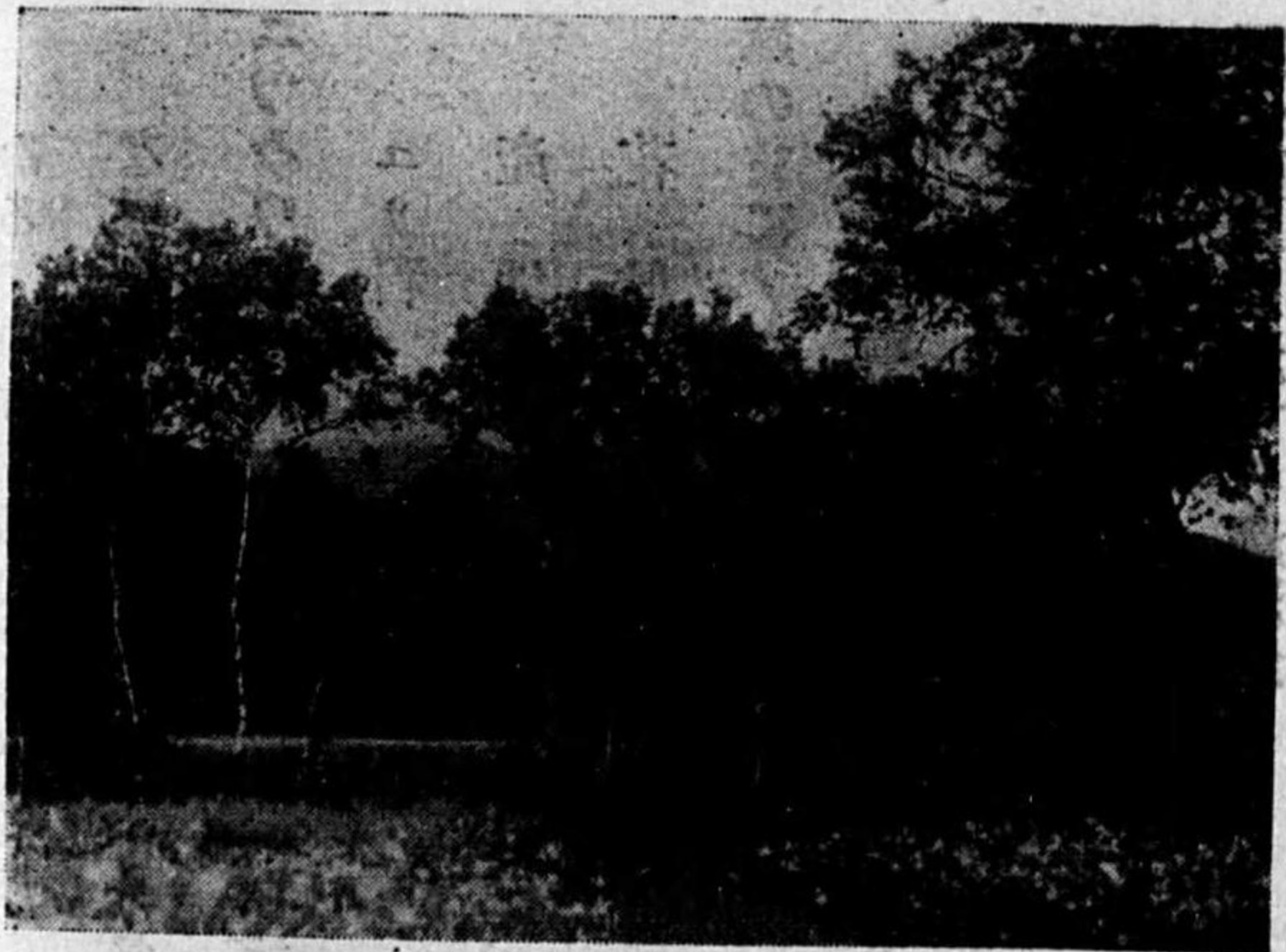
チングルマ、ヒメウスユキサウ、ミヤマアツマギクの群落

**ミヤマキンバイ**

イバラ科 多年草

産地 北海道、本州北中部の草本帯

花候 七月



**ユキワリザクラ**

サクラサウ科 多年草

産地 千島、本州、四國、九州の喬木帯、灌木帯

花候 六月

**チングルマ**

イバラ科 小灌木

産地 樺太、千島、北海道、本州北中部の草本帯

花候 七月

**ミヤマアツマギク**

キク科 多年草

産地 北海道、本州北中部の草本帯

花候 七月

**シロバナシヤクナゲ**



ツ、ジ科 常緑灌木

産地 北海道、本州の灌木帯

花候 七月

コマクサ

ゲシ科 多年草

産地 本州北中部の草本帯

花候 七月

ヒメウメバチサウ

ユキノシタ科 多年草

産地 樺太、千島、北海道、本州、九州、臺灣の山麓丘阜又は草本帯

花候 八月より十月

ダイヤモンドサウ

ユキノシタ科 多年草

産地 千島、北海道、本州、四國、九州の喬木帯

花候 七月

シヨウキラン

ラン科

産地 本州各部、九州の喬木帯

花候 七月

ミツバセウ

テンナンショウ科 多年草

産地 樺太、千島、北海道、本州北中部山地の濕原

花候 七、八月

ミヤマウスユキサウ

キク科 多年草

産地 本州北中部の草本帯



花 候 八月

マウセンゴケ

イシモチサウ科 多年草

産 地 樺太、千島、北海道、本州、九州の山中濕原

花 候 七、八月

ナガバノマウセンゴケ

イシモチサウ科 多年草

産 地 樺太、千島、北海道、本州北中部の喬木帯濕原

花 候 八月

第 二 卷

只見川の溪谷に沿ひ藪を分け急崖をたどつて名瀑三條の瀑へ

只見川は尾瀬沼から出た沼尻川と尾瀬ヶ原の水を集めて北に流れ阿賀野川に入る川で三條の瀑の上下流二三十町の間は兩岸切り立つた様な絶壁である。

三條の瀑、水量豊かな只見川の全幅が四百尺の下底に鎗鞆の響物凄くたぎり落ちる光景は真に壯觀である。

仙境に風情を添へる雲、風、雨

山を行く者に雨は甚だ迷惑なもの、一つであるが、雲の去來、風に波立つ草原の眺など心を樂しましめるものである。

月に眠る尾瀬

月明の夜は美しい四圍の景色に夜更くるまでキャンプから話聲が洩れて來る。

燧岳の影を映し浮草の間に魚をどる尾瀬沼

尾瀬ヶ原東端檜枝岐小屋から約一里半を沼尻川に沿つて登れば尾瀬沼の西端に達する。沼は標高一、六六五米で原より高さこと二六五米、日光中禪寺湖より三九四米の高所にある。水深の最も深い所は五米半に達し、岸近くミヅガシハ、ヌマドクサ、オホフトキ、ジュンサイ等の繁茂するのが見られる。

燧岳は標高二、三四六米尾瀬沼の北岸に聳ゆる山で附近第一の高山である。頂上



に登れば脚下に尾瀬一帯の沼池、高原を俯瞰し眼前に會津駒ヶ岳、日光白根山、男體山、武尊山、至佛山等が聳立してゐる。

### 湖畔の長藏小屋を後に山の神祕を懐にして歸路につく

長藏小屋は沼の東端にあつて福島縣人故平野長藏の建てたもの以前は沼尻にあつたのを大正四年現在の地に移したものである。戸倉から三平峠を越へて來る者の先づ一泊する所で、小屋に隣接して天幕地もある。

かくて一行は尾瀬に分れを告げ三平峠に向つて歸路についた。

## 内外教育映畫時報

### 外國に於ける教育映畫の近況

教育映畫に關心を持つほどの人の誰しも知り度いと思ふのは、外國に於ける教育映畫の發達情況であらう。而もこのことは、今日に於ては斷片的なもの、外は尙困難なことに屬してゐる。その理由の一つはいふ迄もなく國語の相違に基づく情報交換の不便であるが、それは既に國際教育映畫協會（ローマ）が設立せられてからは、各國の文献やニュースを蒐集して、それを五ヶ國を以て毎月刊行せらるゝ機關雜誌 *International Reviews of Educational Kinematography* に發表せられるから、今日では著しく減少しつつあるが、寧ろ各國との連絡協同が十分なる程度に達してゐないので、各國の情勢を、斷片的でなく綜合した適確な報告を求め難いことにあるらしい。この意味は、云ひ換へると、未だ各國に必要な、教育映畫の中央機關が設置せられて居らず、國內の教育映畫運動の統制が十分よく行はるゝ程度に至つてゐないからであらうが、



その爲に、内は國內に對して觀察が困難であると共に、外に向つては協會との連絡にも一國としての力強さが缺け、自然、國際的理解の機會を乏しくせしめるものであらう。

然し、事實としてはかくの如き要求は或は寧ろ求むることが無理であるかも知れない。何となれば、映畫の發達は餘りに急速であつて、その社會的關係は餘りにも廣く、これを教育的立場に限定して考察せんとするも、その範圍その程度は、國情の相違に依て異なるは云ふ迄もないが、同一國內にあつても之を綜合的に的確に捕捉することは種々の事情に依つて相當困難であつて、たとへ教育映畫事業の實際に携つてゐる者にとつても必ずしも可能的な容易な業とは云へないのであるから、かゝる教育映畫發達の現段階に於て、思ふやうな國際的展望を得んとするは、他の方面に於けるそれよりも一層困難なるはいふ迄もないことであらう。

かゝる意味に於て、左に譯出した教育映畫國際評論、本年四月號所載の Here and there は、不十分乍ら、教育映畫の海外消息を知らんとする者に幾分の参考となるであらうと思ふ。

### ド イ ツ

フランクフルト・オン・マインの映畫聯盟では、教便物としての映畫の検討を目的として、その一機關であるヘッセ映畫局の會議を開催した。この會議の報告をしたヘット・リヒトベールト(十二月號)に依るとヘッセに於ては映畫教育が極めて盛んで、教師の爲に映畫講習の新しいセンターがマインツとダルムシュタットの二ヶ所に設けられたといふことである。映畫聯盟は、既にフィルム及びスライドの中央ライブラリットを持つてゐるが、更に各地にその支庫を開設した。

政府は學校へ映畫を採入れることに熱心であつて、數都市に於て映寫機を購入した。シネマ(ロンドン發行)二月四日號には、ドイツから歸つた A・ブルーネル氏の興味ある講話が載つてゐるが、それに依ると一萬一千の獨逸の學校は既に教授の爲に映畫を利用してゐるといふことである。

### イギリス



ブルネル氏は右の講話に於て、耳からするよりも目に訴へた教育の方が秀れてゐることが既に明白になつた今日に於ては、英國の學校に映畫を採入るゝことの必要なことを力説した。

十二月十七日のデーリー・テレグラフは、學校教育竝に社會教育に關する映畫に對し、英國社會の無關心な態度を慨嘆し、この無關心さを映畫がサイレントからトーキーへ移行する間のあの呆然とした態度以上であると難じてゐる。

宛もその翌日、同紙はウエスターン・エレクトリック會社の支配人E・P・L・ペリイ氏の興味ある手紙に依つて、トーキー利用の教授法を研究する一委員會がミッドル・セックスに設けられたことを發表して大いに輿論を刺戟した。ペリイ氏は云ふ、若しこの實驗にして成功せば、多くの教授用フィルムが英國に於て製作さるゝやうになるであらうと。

デーリー・フィルム・レンターは十二月十九日號で「下院に於て主務大臣は質問に答へて、視學は映畫の學校教育への利用を研究しつゝあり、その實驗を數々行つてゐる

と述べた」旨を報道した。又、二月九日號では、ウエスターン・エレクトリックはこれらの實驗を奨勵する爲に數校に對し携帯用サウンド映寫機及びフィルムを貸與することを申出でたと發表してゐる。

かくて十二月十七日のザ・シネマは、無電装置及び映寫機はノース・ライディングの各學校に設備されんとしてゐることを報じ、又二月四日にはブラッド・フォードの數校で映寫機が設備せられ、フィルムが教授上の必要具として採用せられたと傳へてゐる。

これらの事實に依つて見れば、英國の諸學校は今や映畫の利用に進みつゝあること明白である。即ち次の記事が示すやうに、一般に、映畫の教授への利用を靜觀しつゝあるが如くである。——ニュー・キャッスルの學校建築委員會は、今後は不必要な經費を節約して映畫ホールを建築するやうにその設計書の中に加へることを提議した（エデュケーション、一月二十三日）



## オーストリア

エデュケーショナル・スクリーン(シカゴ)一月號はオーストリアに於ける學校映畫發達の現状に就いてシヨバア氏のステートメントを再録してゐる。右に依れば、オーストリアには學校映寫の爲に絶対に留保せられてゐる映畫館が四十六あつて、その中十四はウインに在る。而してフィルムは多くは學校映畫聯盟から供給せられてゐる。尙、オーストリアに於ける學校映畫の組織及び活動に就いては一九三〇年四月の教育映畫國際評論に掲載せるシヨバア氏の論文に就いて見ると詳しい。

## ブラジル

シネ・オブス(パリ)誌上にて、サントス・スピリオ州教育部長秘書A・ヴァイパツカ氏は、農業、衛生、職業指導等の映畫の州に於ける蒐集の效果に就いて報告し、更に大學及びハイスクールに映寫機の寄贈があり、都市に對しては中央本部にて計畫されたプログラムに依つて毎週兒童映畫會を開催するやう懲慥したと云つた。

## アメリカ

合衆國に於ける映畫と學校との協同は日々密接を加へつゝあり、學校は益々映畫を説明の手段として利用しつゝある。

アメリカン・シネマトグラフィア(ハリウッド)一月九日號に依れば、ハンスター大學はサウンドフィルムを教授に利用してゐるし、フィルム・デイリー一月十八日號に依るとノーザンプトン(マサチューセツツ)のスミス大學でも教授用に映寫裝置を設備した。これらの出來事は單にそれ丈に止まらない。ニューヨークでは市の小學校に於ける映畫利用の結果が良好であつたために他の多くの小學校でも兒童に對して少くとも一週間一回は映寫會を開くやうになつたと、視覺教育監督リタ・ホッフハイマン氏が言つてゐる。又エデュケーショナル・スクリーン一月號の、フィラデルフィア視覺教育監督J・G・シグマン氏の論文に依れば、フィラデルフィアに於ても映畫教育が急速に伸展せるといふことである。同様のことがポストンにもあるといふことは、やはり同誌に載つたJ・A・ヘネシイ氏(視覺教育視學)の論文によつて明らかである。



一月四日のフィルム・デリーではシカゴの百十校は教授上にフィルムを利用してゐると報じてゐる。又、ヴァイジュアル・インストラクション（第三號、一月）では、E・K・ワツシユバーン氏がホノル、大學に於ける映畫利用の教授を引用して、自然科学及び歴史教授に對する映畫利用の價值を強調してゐる。ホノル、大學には、四百の教育映畫が所藏せられ、九十三の學校に貸出をなし、その結果四萬の兒童生徒がその恩恵を蒙つてゐるといふことである。

アメリカの學校に於て利用されてゐる教育映畫の内容に關し、フィルム・デリーは商務省の照會に對する興味ある回答を發表してゐる。それに依れば、映畫の種類は、藝術的のもの二%、體育に關するもの七・二二%、自然科学に關するもの二六・一八%、數學に關するもの〇・五二%、英語教授用のもの四・一三%、手工教授用のもの四・八七%、國民經濟に關するもの四・五二%、農業に關するもの一・七二%の割合である。

以上は具體的な實例であるが、同時に、米國の新聞雜誌が一般に映畫の可能性を發展せしめ、その教育的價值を希求する論文を掲げて世論を喚起してゐることを逸する

ことは出来ない。それらの中には、例へばJ・バーンス氏の内氣な子供の體育に關する論文の如き重要なものがある（トレーニング・スクール・ブリテン一月號）。——内氣な子供の體育に映畫、視覚手段が果して用ゐられるものであらうか。若しさうだとすれば、どんなフィルムが使用せられるか。映畫に依る方法は不健康を矯正するに役立つであらうか。これらの問題の第一と第三について、バーンス氏は彼の經驗及び彼がニューヨークのバーネット・ストリート・スクールで行つた映畫教育から得た結果に基づき、肯定的な解答を與へ、第二の問題については、若し教師が生徒に十分な準備を與へ、且つ映畫の教育的價值を完全に引き出すことの出来るやうに適正な時間にフィルムを映寫する方法を心得てゐるなら、いかなる種類の映畫でも適當であるといふ意見を發表してゐる。

最後に、モーション・ピクチャア・ヘラルド（一月十九日）は近くニューヨークに教育映畫會議が開かれるといふ重要な報道をした。



## フランス

四〇

映畫を學校へ採入れんとする運動は積極的に行はれてゐる。シネ・オブス一月號には教育映畫の先覺者の一人である A・コレット氏がフランスに於ける教育映畫の發達の不十分な理由を擧げてゐるが、それは次の三つである。(一)政府の援助の不十分なこと。(二)小さなフィルム・ライブラリーばかり餘り多くて、折角の努力がその結果反て分散的となること。(三)小型フィルムの採用は三十五ミリ映畫利用の困難を解決する最も良い方法であるに拘らず、尙一樣に學校に於て採用することに反對のあること。右の教授用フィルムの型式に關する問題は、P・バーリア氏に依つても亦論ぜられてゐる。この他フィルムの蒐集及學校映畫の配給に關する技術的問題に就いてパリ教育博物館副監督 G・レブンの發表せる論文も注目すべきもので、これらの事實に依つてフランスはその業績に見て決して後れてゐるといふことは出來ない。

## ハンガリー

リビスタ・ペダゴギカ(ローマ)の一月號に依ると、ハンガリアは學校に於ける映畫利用教授を強制的にやらせた最初の國であるといふことであるが、ハンガリアの學校は一年に少なくとも六回は歴史・地理・自然科學等に關する教育映畫の映寫を行つてゐる。

## ソビエツト・ロシア

モスコイのソビエツト・ロシア對外文化連絡協會は最近ローマの教育映畫國際協會に次の一書を送つた。レニングラードにあるソユーズキノの事業は近年著しく成長した。特に學校に於ける映畫の公映は組織化され、興味ある講義が之に附隨してゐる。諸種の教育映畫は、例へば「地球と空」「雷」その他このやうな種類の、子供に容易に判るやうな自然現象を示したものである。而して、映畫を教授手段としてロシアの學校に採入れる問題については今や盛んに検討せられつゝある。



### 名古屋市教育映畫協會の活動

(九月十日報告に據る)

名古屋市教育映畫協會は、同市教育映畫調査委員會(昭和三年五月五日設置)の決議に基き兒童の映畫興行觀覽問題を解決する爲に教育映畫を利用し映畫教育を發達せしむる目的を以て昭和四年四月六日創立せられたる教育映畫團體(稿末會則參照)であつて、その活動は種々の點に於て注目すべきものがある。今左に當事者の報告に基きその近況を摘記する。

一、豫算(昭和六年度)六、三〇〇圓

#### 二、會員種類及數

(イ) 普通會員(學校及修養團體)	一三一
小學校(市内小學校全部)	九四
中等學校	八
修養團體	二九

(ロ) 賛助會員(工場會社)

七

#### 三、映寫機及フィルム

(イ) 映寫機(標準型)	アクメ	一	デプライ	一
(ロ) フィルム	七三			
實寫	二七			
漫畫	一一			
劇	三五			

#### 四、事業成績

(イ) 映寫班數	二班
(ロ) 映寫回數	昭和六年度五三〇回の豫定(四月以降映寫濟二五八回)
(ハ) 講習會	

昭和五年三月映寫技術講習會(三日間)會員一二〇名

昭和六年六月映寫技術及解説法講習會(八日間)會員一六〇名



- (ニ) 公開映寫會 公園、公會堂等に於て毎月一回實施
- (ホ) 優秀映畫推薦 八回

五、將來の計畫

豫算は創立年度の三千百五十圓に比較すると現在はその二倍に増加してゐるが、七年度は約一萬圓に上る豫定であつて、映寫機が増加せらるゝ外、小型映畫にも進出し映寫回數は約千回に及ぶ豫定である。

名古屋市教育映畫協會々則 (抜抄)

- 第一條 本會ハ名古屋市教育映畫協會ト稱シ事務所ヲ名古屋市役所内ニ置ク
- 第二條 本會ハ教育映畫ノ普及發達ヲ計ルト共ニ映畫教育ノ實施ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス
  - 一 賛助會員 年額金五拾圓ヲ納ムルモノ又ハ一時金三百圓以上ヲ納ムルモノ
  - 二 普通會員 年額金拾圓以上ヲ納ムル學校其ノ他ノ團體會員ノ待遇ニ關シテハ別ニ定ムル細則ニ依ル
- 第四條 本會ハ第二條ノ目的ヲ達センカタメ左ノ事業ヲ行フ

- 一 フィルムライブラリーノ設置
- 二 映畫ニ關スル講習會講演會ノ開催
- 三 映畫ノ撰定推薦並ニ製作
- 四 巡回映寫並ニ公開映寫會ノ開催
- 五 映畫ニ關スル圖書發行
- 六 其ノ他必要ナル事項

名古屋市教育映畫協會映寫規定 (抜抄)

- 第一項 本會々員ハ一ヶ年三回ヲ限リ無料出張映寫若ハフィルムノ無料貸與ヲナス。必要ニ應シ同時ニ映寫機モ無料貸與ス
  - 第二項 提供スヘキフィルムハ一回ニツキ
    - (イ) 普通會員 七卷
    - (ロ) 賛助會員 一〇卷
  - 第七項 以上ノ外フィルム並ニ映寫機ノ有料貸與ヲナスコトアルヘシ
- |                     |        |      |       |
|---------------------|--------|------|-------|
| 有料貸與ノ場合ハ左記ニヨル但一回ニツキ |        |      |       |
| (イ) 會員              | フィルム一卷 | 八拾錢  | 映寫機一臺 |
| (ロ) 會員外             | フィルム一卷 | 一圓以上 | 映寫機一臺 |
|                     |        |      | 二圓    |
|                     |        |      | 三圓以上  |



## 優良映畫賞牌交付

文部省に於ては豫て優良映畫の製作普及獎勵の意味を以て文部省推薦及び認定映畫中特に優良なるものに對し優良映畫賞牌を交付することとなり詮衡中の處、今回の授賞映畫は左記の通り決定したので、近く文部大臣より該映畫の製作者に夫々右賞牌を授與すると共に、一つ橋教育會館に於て關係各方面を招待し、發表映寫會を開催することになつた。因みに今回の授賞映畫は日本映畫のみに限られた。

- 一、千代紙映畫 「こがねの花」 一卷 千代紙映畫社製作
- 一、線畫 「蛙は蛙」 一卷 横濱シネマ商會製作
- 一、教化劇 「校長先生」 四卷 朝日キネマ合名會社製作
- 一、時代劇 「荒木又右衛門」 二〇卷 日本活動寫真株式會社

## 文部省に於ける民衆娛樂

## 及び教育映畫に關する施設の概要

## 一、活動寫真フィルムノ製作

學校教育及社會教育上の資料に供すると共に、一般教育映畫の健全なる發達を助成し、國民の教育と趣味の向上とを圖るために教育映畫を製作す。大正十二年の創始にして、以來漸次其の設備を擴張し、現在に於ては自ら製作し得る程度に撮影、現像等の設備を充實した。製作映畫の種類は實寫、線畫、劇等各種に亘り、その製作總數は百二十種二百二十九卷に上つてゐる。

## 二、活動寫真フィルムノ頒布

教育映畫の普及を圖る爲めに、本省製作映畫を一般に頒布してゐるが、最近映畫教育の發達するに伴ひ、漸次頒布申請増加の傾向にある。(頒布總數二千五百七十七卷)

## 三、活動寫真フィルムの貸與



教育映畫普及の意味を一層徹底せしめ、教育映畫供給の乏しき今日、利用者の利便を圖るために本省製作映畫の一部を一般に貸與す。この事業の創始は昭和三年にして、その歴史は比較的日淺く貸與映畫數にも制限があるが利用の實績は著しく揚りつゝあり、貸與映畫種類も亦年々擴張して今日では五十種に増加した。

貸與總數 一、四〇八卷

#### 四、活動寫眞フィルム の 推薦

一般映畫の中より優良なるものを廣く社會に推薦し、映畫の製作及利用上に指針を與へ、斯界の改善向上を圖るため、大正九年始めてこの制度を設けたるが、爾來兩度の改革を経て現在民衆娛樂調査委員會に依つて毎週審査が行はれてゐる。

推薦總數 三百二種 二千十三卷

#### 五、幻燈映畫、活動寫眞フィルム の 認定

社會教育上に資すべき映畫を認定し之が利用を奨勵すると共に教育映畫の改善向上を圖るため明治四十四年此の制度を設けたのである。

認定總數 幻燈映畫 千十卷、 活動寫眞フィルム 七百十卷

#### 六、教育映畫に關する調査

教育映畫に關する各種の事項を調査し、資料を蒐集して、教育映畫施設の參考に供すると共に改善指導に資する目的を以て、昭和二年以來各種の調査を実施し、既に左記調査結果を教育映畫研究資料に輯録發表した。

1. 現行映畫興行と教育との關係
2. 教育映畫業者狀況
3. 青少年の映畫興行觀覽狀況
4. 道府縣及都市に於ける教育映畫利用狀況
5. 教化映畫利用狀況

尙教育映畫目錄編纂の目的を以て、フィルム調査を実施しつゝあり、昭和五年五月既に第一回の教育映畫目錄を刊行した。

#### 七、民衆娛樂に關する調査



最近民衆娛樂問題はその重要性を加へたるを以て、その實情を調査し民衆娛樂に對する社會教育的對策の參考に供し併て改善指導に資する目的を以て、昭和五年五月先づ全國民衆娛樂調査を實施した。

#### 八、蓄音機レコードの推薦

蓄音機は民衆的な家庭娛樂なるを以て絶えずその傾向を調査し、優良なる蓄音機レコードを推薦して一般に普及利用の途を講ずると共に之か改善に資せんとする目的を以てこの制度を設けてゐる。

推薦總數 二千百十種 三千二百八十枚

#### 九、蓄音機レコードの認定

社會教育上に資すへき蓄音機レコードを認定し其の利用を奨勵すると共に之か改善向上を圖るため此の制度を設く。

大正十二年創始以來現今に至る。

認定總數 百八十三種 三百二十四枚

#### 一〇、講習會

活動寫眞映寫技術者講習會開催

映畫教育の普及發達に伴ひ、學校及教化關係諸團體等に於て各種映寫機を購入し教育映畫の利用を圖るものに多きが映寫技術の之に伴はざるか爲めフィルムの損傷は勿論時に不測の椿事を惹起する如きものあり、技術の優劣は將來益々盛んなるへき映畫教育の效果に至大の關係を有するものなるを以て、優良なる映寫技術者を養成するため昭和五年東京に於て活動寫眞映寫技術者講習會を開催したが、本年も亦東京、仙臺、京都、廣島等に於て開催の計畫である。

第一回講習員數 二百三名

#### 一一、蓄音機レコード製作

- (一) 君か代 國體觀念の涵養に資するため(昭和四年二月製作)
- (二) 令旨奉答の歌 青年の志氣を鼓舞するため(昭和五年十一月製作)



### 文部省製作活動寫眞「フィルム」頒布規程

○文部省告示第三百四十二號

文部省製作活動寫眞「フィルム」頒布規程左ノ通定ム

昭和三年七月六日

文部大臣 勝田 主計

#### 文部省製作活動寫眞「フィルム」頒布規程

- 第一條 文部省ニ於テ製作シタル活動寫眞「フィルム」ハ本規程ニ依リ之ヲ頒布ス
- 第二條 頒布セムトスル「フィルム」ノ名稱、内容、價格及出願期日等ハ其ノ都度官報ヲ以テ之ヲ公告ス
- 第三條 「フィルム」ノ頒布ヲ受ケムトスル者ハ其ノ旨文部省ニ申請スヘシ、但シ皇室ニ關スル「フィルム」ニ付テハ官衙學校圖書館博物館公共團體公益團體新聞社及雜誌社ニ限り申請スルコトヲ得
- 第四條 「フィルム」ノ頒布ヲ申請セムトスルトキハ皇室ニ關スル「フィルム」ニ付テハ別記第一號様式ニ依リ其ノ他ノ「フィルム」ニ付テハ別記第二號様式ニ依リ申請書ヲ文部省ニ提出スヘシ前項ニ關シ必要ト認メタル場合ハ申請者ノ身分等ニ付當該市町村長ノ證明書ヲ添付セシムルコトアルヘシ
- 第五條 「フィルム」ノ頒布ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
  - 一 皇室ニ關スル「フィルム」ハ營利ノ目的ヲ以テ使用セサルコト
  - 二 皇室ニ關スル「フィルム」ハ第三條但書ニ掲クル者ニ對スル外之ヲ讓渡又ハ貸與セサルコト
  - 三 皇室ニ關スル「フィルム」ハ特ニ保管ニ注意シ滅失又ハ盜難ニ罹リタルトキハ其ノ顛末ヲ詳記シ直ニ之ヲ文部省ニ報告スルコト
  - 四 複製改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘサルコト
  - 五 「フィルム」ヲ讓渡シタルトキハ讓受人ト連署シ其ノ旨遲滯ナク文部省ニ報告スルコト

- 第六條 頒布スル「フィルム」ハ代金ヲ納付シタル後之ヲ交付ス
- 代金ハ納入告知書ニ依リ日本銀行又ハ最寄日本銀行支店若ハ代理店ニ之ヲ納付スヘシ

#### 附 則

大正十二年文部省告示第四百二十九號皇室ニ關スル活動寫眞「フィルム」頒布ニ關スル件ハ之ヲ廢止ス本規定施行以前ニ於テ頒布ヲ受ケタル「フィルム」ニ付遵守スヘキ事項ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

#### 別 記

#### 第一號様式

皇室ニ關スル活動寫眞「フィルム」頒布申請書

一 フィルム名稱

卷 數

昭和三年文部省告示第三百四十二號所定ノ事項ヲ遵守スヘキニ付右御頒布相成度

年 月 日

申請者



住所  
何々學校長 氏 名印

第二號様式

活動寫眞「フィルム」頒布申請書

一 フィルム名稱

卷數

昭和三年文部省告示第三百四十二號所定ノ事項ヲ遵守スヘキニ付右御頒布相成度  
年 月 日

申請者

住所

氏

名印

文 部 省 宛

文部省製作活動寫眞「フィルム」貸與規程

○文部省告示第三百四十三號

文部省製作活動寫眞「フィルム」貸與規程左ノ通定ム

昭和三年七月六日

文 部 大 臣 勝 田 主 計

文部省製作活動寫眞「フィルム」貸與規程

- 第一條 文部省ニ於テ製作シタル活動寫眞「フィルム」ハ本規定ニ依リ之ヲ貸與ス
- 第二條 貸與セムトスル「フィルム」ノ名稱、内容、使用料及出願期日等ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス
- 第三條 皇室ニ關スル「フィルム」ハ公益ノ目的ノ爲ニ使用スル者ニ限り之ヲ貸與ス
- 第四條 「フィルム」ノ貸與ヲ受ケムトスル者ハ別記様式ニ依リ申請スヘシ但シ必要ト認メタルトキハ申請者ノ身分等ニ付當該市町村長ノ證明書ヲ添付セシムルコトアルヘシ
- 第五條 「フィルム」ノ貸與ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ
  - 一 轉貸セサルコト
  - 二 保管ニ注意スルコト
  - 三 複製改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘサルコト
  - 四 滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ顛末ヲ詳記シ直ニ之ヲ文部省ニ報告スルコト



第六條 「フィルム」ハ使用料ヲ納付シタル後之ヲ貸與ス

使用料ハ特別ノ事由アリト認メタルトキハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

貸與シタル活動寫眞「フィルム」ノ荷造運搬等ニ要スル費用ハ被貸與者ノ負擔トス

第七條 貸與ヲ受ケタル「フィルム」ノ使用期間ヲ經過シタル後尙現品ノ返還ヲ遲滞セル場合ハ使用料ヲ追徴ス

第八條 貸與ヲ受ケタル「フィルム」ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ハ被貸與者ニ於テ之ヲ賠償スヘシ但シ

其ノ損害カ被貸與者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ依リテ生シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 使用料及賠償金ハ納入告知書ニ依リ日本銀行又ハ最寄日本銀行支店若ハ同代理店ニ之ヲ納付スヘシ

第十條 貸與シタル「フィルム」ハ本規程ニ違背シタル行爲アリト認メタル場合ニ於テハ貸與期間中ト雖之ヲ返還

セシムルコトアルヘシ

第十一條 一旦納付シタル使用料ハ理由ノ如何ニ拘ハラズ之ヲ還付セス

別記様式

活動寫眞「フィルム」貸與申請書

昭和三年文部省告示第三百四十三號所定ノ事項ヲ遵守スヘキニ付左記ノ通「フィルム」御貸與相成度

記

一 フィルム名稱 卷 數

一 使用ノ目的

一 使用ノ期間

- 一 使用回数
- 一 使用場所
- 一 映寫機名稱
- 一 映寫技師ノ職氏名
- 一 説明者ノ職氏名

年 月 日

申請者

住所

職名 氏

名 印

文 部 省 宛



フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
子供の育て方	2	590	236.00
○傳染病の病原體	2	420	236.00
○蚊の一生と疾病の傳播	1	263	105.20
○日本三景「雪の松島」	2	454	182.00
○壺 (線畫)	1	305	122.00
○我國の製鐵工業	2	470	188.00
○我國の古武道	5	1,240	496.00
情の光	5	1,410	564.00
雪の北越	1	255	102.00
○公衆作法「東京見物」	5	1,270	508.00
○航空船にて復興の帝都へ	1	295	118.00
昔の競技	3	680	272.00
○蠅とその害毒	2	610	244.00
○日本三景「天の橋立」	1	240	96.00
海の生物	2	520	208.00
富士と五湖巡り	2	390	156.00
○奉公美談「父を助けて」	4	1,000	400.00
○第三回汎太平洋學術會議	1	240	96.00
○大正天皇御大喪の御儀	1	305	123.00
婦人の職業「優しき力」	2	575	230.00
○我國の火山	2	610	244.00
○國際親善「人形のお使」	2	455	182.00
この子この親	4	1,000	400.00

### 文部省製作活動寫眞フィルム目錄

(○印貸與をもするもの、使用料金一卷一日壹圓の割)

フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
○關東大震大火實況	5	1,180	472.00 <sup>四錢</sup>
○皇太子殿下御成婚の御儀	2	545	218.00
○東宮同妃兩殿下神宮並山陵御參拜	3	815	326.00
○秩父宮殿下立山御登山	2	452	180.80
○觀菊會	2	365	146.00
皇太子殿下葉山海岸御水泳	1	200	80.00
○運動競技の分解	2	565	226.00
○女子の運動	2	545	218.00
○麗はしき「日光」	2	412	164.00
納稅美談「北國の少年」	2	335	134.00
○皇后陛下御飼育の養蠶場	1	238	95.20
○御渡歐の秩父宮殿下	1	285	114.00
○日本アルプス縦走	2	548	219.20
○皇太子殿下樺太行啓	2	435	174.00
北海の奇觀「海豹島」	1	262	104.80
○北方の富源「樺太の産業」	1	310	124.00
○復活せる早慶野球戰	1	305	122.00
○帆走練習の大成丸	1	164	65.60
故郷の歌	5	1,145	458.00
○日本三景「安藝の嚴島」	2	425	170.00



フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
御大禮觀兵式、特別觀艦式	1	232	92.80
水泳	2	433	173.20
有用動物「牛」	1	285	114.00
體操	1	250	100.00
實業補習教育	3	(都)295 (農)300 (漁)238	118.00 120.00 95.20
魚の國 (線畫)	1	302	120.80
雪國の一日	1	230	92.00
赤石岳	2	545	218.00
駒ヶ岳の爆發	2	488	195.20
天皇陛下關西行幸	2	583	233.20
世界一周飛行ツエツペリン伯號	1	305	122.00
日出づる國	3	790	316.00
覺めよ國民	2	605	242.00
二つの世界	1	30	121.60
第五回明治神宮體育大會	3	845	338.00
御親閱 <small>昭和四年十一月</small> <small>水戸堀原練兵場</small>	2	443	177.20
萬國工業會議	2	490	196.00
○新宿御苑	1	213	85.20
忠吉は歸つた (線畫)	1	305	122.00
生きる力	5	1,430	572.00
幼児の運動	1	228	91.20
皇后陛下東京高等女子師範學校行啓	1	204	81.60

フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
鍬の光	4	990	396.00
陸上競技	3	895	358.00
病毒の傳播 (線畫)	1	310	124.00
日本三景	1	285	114.00
我國の農業	2	548	219.20
動物界の母性愛	1	289	115.60
我が南洋	6	1,680	672.00
黒部峡谷探險	2	580	232.00
七つの夢 (線畫)	2	610	244.00
十和田湖探勝	1	267	106.80
女子の體育	1	290	116.00
乳兒の榮養	1	305	122.00
鮭	1	275	110.00
うみねこの蕃殖地「燕島」	1	280	112.00
冬のスポーツ	1	247	98.80
○ボートとその漕ぎ方	1	200	80.00
悠紀主基齋田御田植祭	1	205	82.00
劍岳	2	365	146.00
御大禮の御儀	2	595	238.00
悠紀主基齋田拔穂式	1	203	81.20
閑院宮殿下御親閱 <small>京都府青年訓練 學校教練</small>	1	165	66.00
十二指腸蟲の發育と其の感染經路	2	550	220.00
人體寄生蟲と其の中間宿主	2	530	212.00



フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
タヌ吉のお話(漫畫)	1	295	118.00
陽光を仰ぐ	5	1,200	480.00
五一ぢいさん(漫畫)	1	300	120.00
マツチの話	2	530	212.00
尾瀬	2	420	168.00
小笠原島	2	440	176.00

映畫に關する事項は

文部省社會教育局庶務課に

照會せられたし

フィルム名稱	卷數	米數	頒布價格
櫻	1	152	60.80
石	2	400	160.00
○天皇陛下復興帝都御巡幸	1	258	103.20
昭和の帝都	2	470	188.00
○極東選手権競技大會總裁宮殿下御招待	1	270	108.00
皇太后陛下東京音樂學校行啓	1	260	104.00
○海洋少年團御親閱	1	300	120.00
皇后陛下東京聾啞學校行啓	1	265	106.00
皇后陛下東京盲學校行啓	1	127	110.00
鹿島槍ヶ岳と下廊下	2	495	198.00
ガラスの話	2	415	166.00
鹽の話	2	480	192.00
ろば(線畫)	1	290	116.00
禮儀作法	2	515	206.00
全國男女青年代表御親閱	2	360	144.00
明治神宮奉納神事舞	2	385	154.00
○明治の輝	3	630	252.00
○教育勅語換發四十年記念式	1	200	80.00
御親閱昭和五年十二月岡山練兵場	2	430	172.00
鯨	2	475	190.00
水の力	1	200	80.00
北伊豆震災	2	375	150.00
輝く愛	5	1,150	460.00



最近完成の映畫

千代紙映畫「心の力」一卷(三〇三米)

實寫「御親閱熊本帶山練兵場」二卷



終